

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 多細胞因子に着目した新たなリプログラミング医療の創出
2. 研究代表者： 古山 賢一郎（京都大学 iPS 細胞研究所 特定拠点講師）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、細胞リプログラミングと細胞間システム（細胞間相互作用）との関係を明らかにし、細胞間システム依存性の細胞リプログラミング因子（多細胞因子）の同定、機能の解明を進めることで、新たなリプログラミング医療の基盤構築を目指すものである。フェーズ1では、多細胞因子の同定を進めたが、COVID-19 感染拡大の影響によるヒト検体の減少という予期せぬ事態のため、アッセイ系の再検討が必要になる等、研究の進捗に遅延が生じた。フェーズ2では、安定したヒト検体の取得、フェーズ1で遅れがあった研究項目の回復に注力するとともに、異なる視点からの解析方法も加える等によって、リプログラミング現象を通して多細胞生物の本質的理解をより深めるための研究計画とし、その研究成果の創出に注力いただきたい。

以上